

復興再生を加速するための技術の活用と社会実装

災害廃棄物由来の再生資材 (復興資材)の有効活用について

平成25年3月4日
鹿島建設株式会社
田代民治

災害廃棄物由来の再生資材(復興資材)数量

- 3県(岩手県・宮城県・福島県)沿岸市町村の災害廃棄物推計量 2,667万トン



復旧(選別・焼却)

津波堆積物

不燃系混合物

コンクリートがら

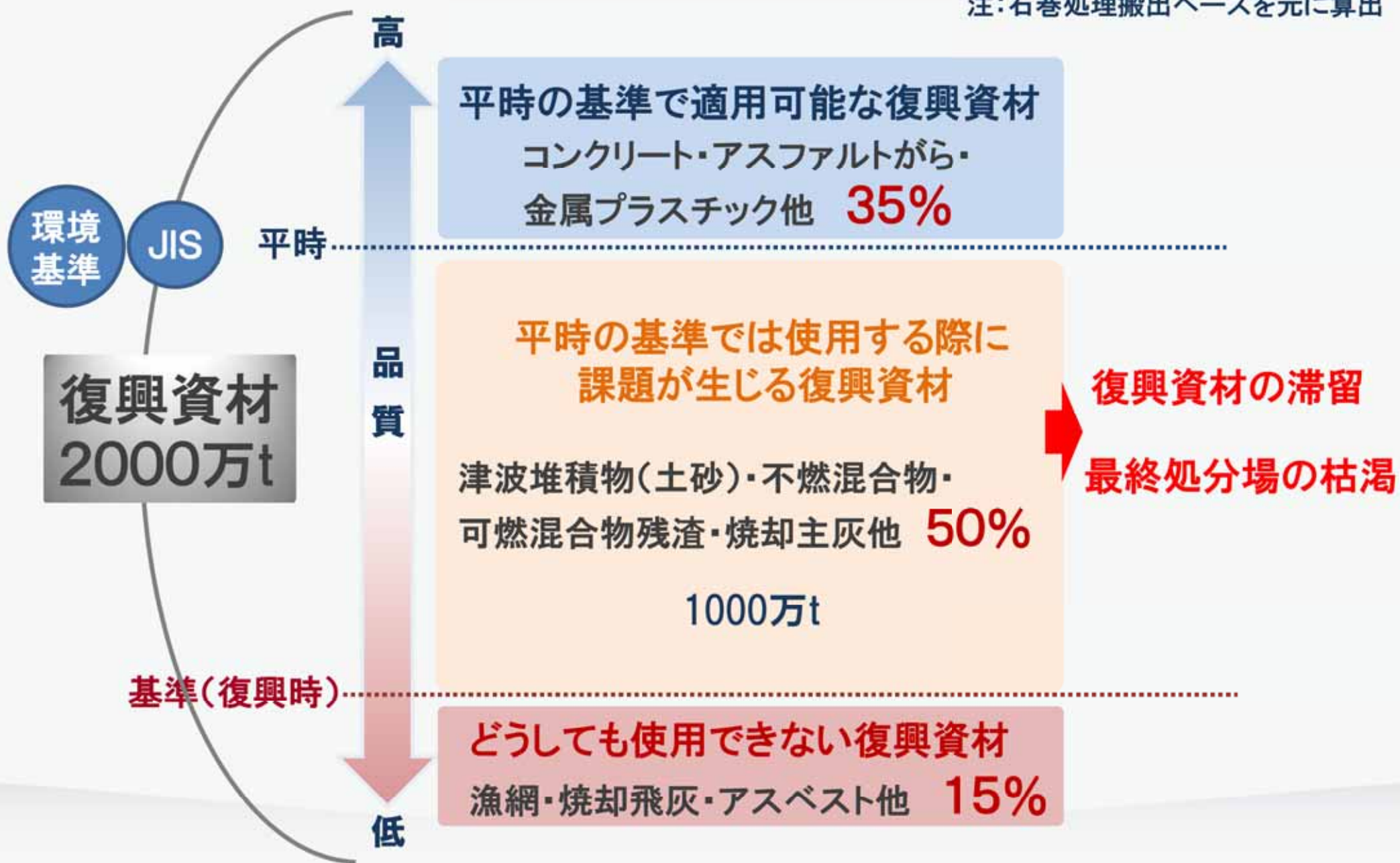
可燃系混合物



⇒ 復興資材の推計量 **約2,000万トン**(潜在量)

有効活用に求められること ～復興資材の概念～

注:石巻処理搬出ベースを元に算出



復興資材の有効活用に求められること

注:石巻処理搬出ベースを元に算出

環境
基準

JIS

平時

300万t

1

復興時の基準適用
(特例ルール)

用途決定 30%
海岸堤防・防災林・
石巻港埋立護岸

平時の基準では
使用する際に
課題が生じる
復興資材 50%
(1000万t)

技術開発・活用

700万t



基準(復興時)